

一般

段級

黒髪山は霞がかかり、雪いよだ白し。

剃捨て黒髪山に衣更 曾良

同行、曾良は河合氏にして惣五郎と云。

〔奥の細道〕

「黒髪山」は、霞がかかって、雪がいまだに白く残っている。

剃捨てて黒髪山に衣更 曾良

深川を出発した時に髪をおろして坊主になった、今また日光の黒髪山に通るかかる時、ちように衣替えの時節だ。曾良は河合という姓で名は惣五郎という。

